

おへらった

「庭にはニワトリ二羽にワニ」

登場人物

トスカ (雌鶏)

トサカ (雄鶏)

クロコ (鰐)

マダム (人間)



暗い夜の闇の中。

ギリシヤ悲劇の王女のような佇まいで、悲しみに打ちひしがれる雌鶏のトスカ。

トスカ 誰が言ったのだろう。ニワトリが、三歩歩くと忘れるなんて。

コッコッコッコ コケッコケッコ。

この深い悲しみに、両の翼も手羽元からちぎりとられてしまいそう。

コッコッコッコ コケッコケッコ。

誰よりも強く雄々しくやさしかったお父さま。

私たち兄妹を残して、無残な最期を遂げられた。

コッコッコッコ コケッコケッコ。

毎日が明けない夜のよう。それなのにくちほし からもれる嘆きの声は

コッコッコッコ コケッコケッコ。

どこか陽気に聞こえるのはなぜ？

トスカ (太陽神アポロンのように光とともに現れ) それは俺たちニワトリが、太陽を呼ぶ鳥だからだ！

トスカ 兄さん！ 今まで一体どこへ？

トスカ トスカ、かわいそうな妹よ。そんなにコケコケ泣くのはおよし。どうせ鳴くなら夜明けとともに、コケコッコーツと勇ましく、復讐の時を告げるのだ！

トスカ ついにつきとめられたのね？ お父さまの仇が誰なのか！

トスカ ……すでにこの世の者ではなかった。すべてを見ていたカラスによれば、父さんは最後の最後まで力の限り戦って、敵を道連れに旅立ったそうだ。

トスカ ああ、やはりお父さまは勇敢なお方。犬死などはなさらなかった！

トスカ トリは犬死になどしない。ましてやニワトリの身でありながら、空飛ぶことをあきらめず、たゆ 弛まぬ努力を重ね続けたあの父ならばなおのこと！

トスカ (なつかしそうに頷きながら) 高い木の枝によじ登ってはあえなく落ちてゆくお姿が、今もまぶたの裏に焼きついています……。けれども兄さん、仇がこ



の世にいないのならば、一体誰に復讐を？

トサカ 子どもが一匹生き残っている。人間の庇護のもと、ひなたぼっこを楽しみながら、のうのうと暮らしているそうなの。

トサカ まあ！ なんとという冷淡な！ かけがえのない親を亡くしてハツを痛めもしないだなんて！

トサカ 「ハツ」ではなくて「ハート」とお言い。聞いていてちよつとぎよつとする。

トサカ ごめんなさい。気持ちがついつい高ぶって。

トサカ おまえが時折そうしてみせる激しさは、まぎれもなく父さんの血のなせる業。

トサカ ならばその血に恥じぬよう、見事仇を討って見せましょう。親の因果は子に報うもの、あえて心を鬼にして！

まるで目の前に親の仇がいるかのように、奇声を発しながら暴れてみせるトサカを、愛おしくも悲しげに見つめる兄。

トサカ ……トサカ、おまえは連れて行けない。

トサカ どうして？ 兄さん。なにを今更！

トサカ 我らの仇は恐ろしく強い。万に一つの勝ち目もなからう。しかしこの命と引き換えに、奴の息の根を止めてみせる。父さんに成し得たことが、息子の俺に出来ぬはずはない。だからトサカ、かわいい妹。今朝は夜明けの時ではなく、おまえに別れを告げに来たのだ。

トサカ 朝の太陽を連れてくるのは雄鶏おんどりにしか果たせぬ務め。もしもあなたを失えば、この世界は永遠えいえんの夜に閉ざされる。薄ぼんやりの月明りの中、兄を見殺しにした悔くいを抱えて私に生きながらえろと言うの？

トサカ ……忘れたのか。父さんが、おまえに託したあの願いを。

トサカ ……忘れられるはずがない。

トサカ・トサカ 「産めよ増やせよ地に満ちよ！」。



トサカ 大地を卵で埋め尽くすのは雌鷄めんどりのおまえにしか果たせぬ務め。あたら命を落とすことはない！

トスカ むざむざ若鳥の肉を差し出そうなどは羽の毛一枚ほども思っちゃいない。

トサカ 相手を知らないから言えることだ！

トスカ なぜ負け戦いくさと決めてかかるの？

トサカ 我らの敵はワニなのだぞ？

トスカ 兄さんの弱虫！ 臆病者のチキン野郎！

トサカ チキンでケツコウ。とにかくおまえは置いて行く。(と立ち去ろうとする)

トスカ (その背中に) その赤い冠は、ただの飾りというわけね。

トサカ ……なんだと？

トスカ 私を連れてお行きなさい。護まもるべきものたちのため、底知れぬ力が湧いて出るはず。なぜなら兄さん！ あなたの名は？

トサカ (魂の奥に小さく灯る青い炎を燃え上がらせるように) ……俺の名はトサカ。ニワトリの冠を頭上にいただく、強き王者の名を受け継ぎし者……！

トスカ 私たち兄妹が力をあわせれば、恐れるものなどない！

トサカ おまえのその気高い勇氣、まぎれもなく父さんの血の……

トスカ さあ、行きましょう！ どんなに硬い甲羅やハサミも粉々に打ち砕き、カ  
ルシウムたっぷりの鳥の餌にしてくれる！ (と勇んで退場)

トサカ ……まさかとは思いますがトスカ……。お前が描く仇の姿、「ワニ」ではなくて「カニ」ではないか？ (と追いかける)

広い庭にある池のほとりで、悲しみに打ちひしがれているワニのクロコ。

クロコ 誰が言ったのだろう。ワニの涙が、嘘泣きの空涙そらなみだだなんて。

ゴロゴロゴローン ゴゴゴーン。

この深い悲しみに、体中の皮という皮が、ひび割れてしまいそう。

ゴロゴロゴオーン ゴゴゴーン。

誰よりも強く大きくやさしかったお母さま。



私だけこの庭に残して、無残な最期を遂げられた。

ゴロゴロゴローン　ゴゴゴーン。

どれほど大きく鳴き叫んでも、さびしさに打ち震えるこの嘆きの声は

ゴロゴロゴローン　ゴゴゴーン。

どこにも届かない。助けて誰か！

マダム　（耳を押さえながら現れて）なんて大きな鳴き声でしょう！　まるでカミ

ナリが鳴っているみたい！

クロコ　ごめんなさいマダム。だけど悲しくてたまらないんです。

マダム　まあいいわ。我が家のお庭は広いから。それよりクロコ、今日はいいものをあげましょう。やっと出来あがってきたのよ。（とクロコのおなかにベルトを

巻く）

クロコ　まさかマダム……まさか、これは……。

マダム　あなたのお母さんの皮で作ったベルトですよ。

クロコ　ああ、お母さま！　なんとという変わり果てたお姿に！　こんなに小さく細長くなって……！

マダム　私はバッグと靴にしたのよ。形見だと思って大切にしましょうね。これでお母さんはいつでもクロコのそばにいる。だから元気をお出しなさい。どうして食事をとらないの？

クロコ　それはマダムが与えてくださるのが、いつも鶏肉だからです……。

マダム　食べなければ死んでしまうじゃない。あなたまで失ったりしたら、私はどうしたらいいの？

クロコ　鶏肉以外のものをお与えください。

マダム　私の家族はクロコ、もうあなただけなのに。

クロコ　ニワトリはイヤ！

マダム　なにか精のつくものをみつくろってきましょうね。早く元気を出すのよクロコ。そのベルト、よく似合っていてよ。

マダム、やさしく微笑みながら退場。



クロコ ……マダムにはわからない。ワニ革のベルトを巻かれたワニの、虚しさと絶望が。母ののどをつまらせ、心臓の鼓動をとめたニワトリの肉を見るたびに、甦る恐ろしさと悲しみが……。愛すべきマダム。気前がよくてやさしいマダム。すべてをもっているマダム。でもあなたがもっていないものが二つだけ。それは家族とデリカシー。

そこへ勇ましく現れるトスカ。

トスカ 私たち兄妹が力をあわせれば、恐れるものなどなにもない！ ……その力をあわせるべき兄さんと、うっかりはぐれてしまうだなんて……。

クロコ ……あなたは、誰？

トスカ (突如毅然と) 私が誰かを知りたくば、まずは自分がお名乗りなさい！(と、声のした方を振り返ると同時に目を見開いてまぶしげに) ……朝陽のように光り輝く金の瞳……。

クロコ (おびえながら) その甲高い声、白い羽……。

トスカ なんとという強いまなざし……。みつめられるだけで、溶けてしまいそう……。 ……。

クロコ 小さな嘴 小さな頭、皺だらけの細い足……。

トスカ 大地を抱<sup>いだ</sup>くたくましい手足。吸い込まれそうな大きなお口……。 どうしてだろう？ この胸の奥の小さなハツが、早鐘を打つ……。 (魂を奪われたようにクロコに引き寄せられていく)

クロコ ニワ、ニワニワ……ニワトリ！

トスカ ご無礼のほど、どうかお許しを。お詫びの印に、トスカのキスをお受けください。(とクロコの手を取り、小刻みに何度も口づけをする)

クロコ 痛い痛い！ 嘴が痛い！

トスカ (うつとりと) おお、鋼<sup>はがね</sup>の鎧にも似た、強く冷たい美しい皮……。

クロコ 助けて！ 天国のお母さま！



トスカ お母様が天国に？ ああ！ そういうことだったのね！ 親を亡くした者  
同士、同じ悲しみをもつ魂が呼び合い、ここでこうして巡り合った！ 運命とい  
う名の、道標みちしるべを頼りに！

クロコ マダム！ マダム！ すぐ来てください！ 頭のおかしいニワトリが！

そこへマダムの声が近づいてくる。

マダム トートット、トートット。

中腰のマダムに追い立てられながら、トサカが現れる。

トサカ 逃げるぞトスカ！ 出直しだ！

トスカ 無理よ、兄さん。運命から逃れることはできないの。

マダム クロコや、いいものを見つけたの。トートット、トートット。ほーら、  
生きてるニワトリよ？

クロコ ニワトリが二羽！

トサカ なにをしている！ 離れろトスカ！

トスカ 離れない！ もう離れられない！

クロコ ニワトリが二羽！

マダム トートット、トートット。あら、もう一羽いるじゃない。

トサカ (追われながら) そいつは、そいつが、そいつこそ、憎き悪魔の生き残り！  
トスカ なんですって!!

クロコ ニワトリが二羽も!!

マダム トートット、トートット。

クロコ 嗚呼、なんてこと！

トスカ 嗚呼、なんてこと！

クロコ・トスカ 悪い夢なら今すぐ覚めて！

マダム トートット、トートット。(体を起こし) 腰が痛くなってきたわ。(と



体操を始める)

トスカ お願いトサカ、嘘だと言って！

トサカ 間違いはない。あれこそ我が仇の息子……！

クロコ 娘です！ 間違ってます！

トスカ でもあの方は、ハサミも持っていないければ、泡だつて吹いてやしない！

トサカ ああ、トスカ……。やはりカニだと思っていたのか……。

マダム (体操を続けながら) さあ、クロコ。活きのいい二羽のニワトリですよ？  
思う存分召し上がれ。

クロコ ハア……。 (大きく長い長い溜息)

トスカ どうか思いとどまって兄さん！ このトスカの恋に免じて。

トサカ 恋!? 恋だと？

クロコ ハア——!?

トスカ そうよ。生れて初めての恋……。

トサカ 寝言は寢床の中で言え。親を殺したおぞましき敵に恋する馬鹿がどこにいる。

トスカ 彼が殺したわけじゃない！

クロコ 女の子だから！ (絶叫)

マダム そうそう、クロコ！ その調子！ 大きなお口でパツクリよ！

トサカ ……トスカ。愚かな妹よ。ニワトリが三歩歩けば忘れることを、その身で証明してみせるのか。兄よりワニを選ぶのか……！

トスカ ……道ならぬ恋とわかった今も、高鳴り続ける熱い思い。この嘴が裂けよう  
うと、もう許してとは言いません。妹と呼ばれなくてもかまわない……。父の仇  
を討ちなさい。ただし！ 私を殺したその後で！ (と、両手を広げてクロコの前  
に立ちはだかる)

トサカ トスカ！

クロコ (たまりかねて) 天国のお母様！ ただちに迎えに来てください……！

トサカ (クロコに) その願い、俺がかねえてやろう。地獄からの迎えを待たずとも、この手羽で送り込んでやる！



トスカ 私の屍を越えてからよ！

マダム みてごらんクロコ、今がチャンスよ！ ニワトリたちが、なぜだかぴたりと動かなくなつた！

クロコ ゴロゴゴオーン！ ゴゴゴオーン！

クロコの大音量の嘆きの声に、マダムは耳をふさぎ、トサカは腰を抜かす。

トサカはただ熱く悲しげな視線をクロコに注ぎ続ける。

クロコ いつだってこんなふうに、なんの前触れもなく、悲しみは降りかかる。始まりのベルも鳴らさず、悲劇は幕を開ける……。あの日もそうだった。よく晴れた暖かな昼下がり。お母様と仲良く並んで、大きく開けた口いっぱい、そそぐ太陽の日差しを浴びた幸せの時。突然高い木の枝から、白い死神が舞い降りてきた。頭に赤い冠をちょこんと乗せて、甲高い声をあげながら。私の愛しいお母様の、のどの奥深くをめがけて……。

トサカ (悲痛な声で) 聞こえるかい、父さん！ もう遅いけれど言わせてくれ！

ニワトリは……ニワトリは飛べないんだよ!!

トサカ いいえ。お父さまは飛び立ったのよ。勇氣と言う名の翼をつけて、はるか遠くお空の彼方へ。

マダム 大声を出したと思つたら、またしょんぼりしているわ。生きたニワトリはイヤなのかしら？ クロコは本当にデリケートな子ね。飼い主の私によく似てる。(と腕まくりを始める)

トスカ あれは不幸な事故だったのよ。誰も殺していない、殺されてもいない。兄さん、もうやめましょう。

トサカ それでも俺は憎いのだ！ 大きすぎるあの口が！

トスカ 憎しみが産むのは憎しみだけよ。喜びや卵は産まれてこない。もしもあの方を殺めれば、今度はあの飼い主が憎しみに身を燃やすはず。

クロコ (指を鳴らしたり深呼吸したりしているマダムに) 何をしているのですか？

マダム。なんだかとっても不吉な予感……。



マダム よーし、やるわよ！ 可愛いクロコのためだもの！（と、トサカの首をしめる）

トサカ コケーコッコッコ！！

クロコ イヤーッ！

トスカ やめて！ 放して！

マダム （必死のトサカに逃げられ）あらあら失敗。あら残念。

トスカ ほらね？ 言ったとおりでしょう？

トサカ まだワニに触れてもいないのに……。

マダム やっぱり素手では難しいわね。そうだ、クロコ。ちよつとそのベルトを貸してちょうだい。（と素早くクロコからベルトを奪う）

クロコ ああ！ お母様！

マダム （トサカの首にベルトをかけながら）怖がらないで。大丈夫よ。これで終わりなんかじゃないから。ただニワトリではなくなって、クロコの血と肉になるだけだから。

トサカ （恐ろしさに動けず）コ、コ、コ、怖ーい！ 怖いよ！ 誰か助けてー！  
全然大丈夫なんかじゃないよ！

トスカ （ベルトを自分の首に回し）どうか私を身代わりに！

クロコ 私の大切なお母様に、死してなおニワトリを殺させないで！

クロコ、体当たりでマダムを吹っ飛ばし、ニワトリたちを抱えるようにしてかばう。吹っ飛ばされたマダムは氣を失っている、

クロコ 逃げてください。そして二度と私の前には現れないで。

トサカ 確かにさつきうっかりと「誰か助けて」とは言った。しかし、まさか貴様に助けられるとは……。

トスカ 二度と会えないくらいなら、私はあなたの血と肉になりたい！

クロコ （トサカに）この氣が変になっている妹さんを連れて今すぐに。

トサカ おまえにとっても俺たちは、死神の忘れ形見。憎くはないのか？ 復讐を



なしとげようとは思わないのか？

クロコ 憎くなどない。かわいそうなだけ。みんな愛しい誰かを亡くしたさびしい子供。私たちがなすべきことは、復讐なんかじゃない。もう聞こえない声を聴くこと。それが残された者たちの務め。

トスカ 今はいないお父さまの、

トサカ 父さんの、

クロコ お母様の、

二羽と一匹 もう聞こえない声を聴くこと……。

クロコ さあ早く行ってください。マダムが目を覚まさないうちに。ああ！ その前にお母様を返して。

トサカ (トスカの持ったベルトを見て) お母様？ この蛇に似た代物しろものが？

トスカ 失礼よ、兄さん。この美しさも肌触りも、確かにこの方と同じもの。(と言いながらベルトを腹に巻き始める)

クロコ なにをするの!?

トスカ (しっかりと装着) ご安心ください。大事なお母様に、二度と無駄な殺生せつしょうなどさせぬよう、このトスカ、あなたのおそばで命に代えてもお守りいたします！

クロコ 有難迷惑だから！(ベルトを奪い返そうとする)

トスカ (すばやく逃げて) どうか私にこのお役目を！

クロコ (追いかけている) お兄さんからもなんとか言って！

トサカ 一度言い出したら譲らぬ妹だ。ただし、忘れっぽいことが一縷いちるの望み。その時をひたすら待つしかない。

クロコ そんなー！

トスカ (追われながら) 初めて知った。愛しい方に追われるこの喜び！ 私、一生忘れない！

クロコ もうイヤー！

マダム (目を覚まし、追いかけてっこをしているクロコを見て) まあ、クロコ！ なんだか元気いっぱいじゃない。そうかわかった！ 広いお庭でひとりぼっちで、



おまえはさびしかったのね。仲間ができてうれしいのね。そういうことならニワトリたちも、この庭で飼うことにしましょう！

ニ羽と一匹（驚き・喜び・落胆、それぞれの思いで）嘘でしょう！?

マダム 早速名前をつけなくちゃ。

トスカ トスカと申します。

マダム おまえはコケコ、（トサカに）おまえはコケオよ？

トサカ トサカだ！

クロコ 一度言い出したら譲らぬマダム……。

マダム ああ、なんて気持ちのいい日なのかしら。仲良しになった記念に、みんなでいっしょに歌いましょう！

あまりに前向きなマダムにつられるようにしてニワトリもワニも歌いだす。

森のような庭の中

沼のような池のほとりで

陰気なめそめそじめじめしてた

湿っぽい日々よ さようなら

朝と一緒に太陽が

風と一緒に未来の時が

陽気な仲間を運んできた

新しい日々よ こんにちは

庭にはニワトリニ羽にワニ

早口言葉みたいで素敵

庭にはニワトリニ羽にワニ

元気が出てくる魔法の言葉



庭にはニワトリニ羽にワニ  
庭にはニワトリニ羽にワニ  
庭にはニワトリニ羽にワニ  
庭にはニワトリニ羽にワニ

マダム よかったわね、クロコ。

クロコ ……そうでしょうか、マダム。

マダム 食べてもいいお友達よ？

トスカ・トサカ コケーコッコッコ！

クロコ ゴロゴロゴーン！

庭にはニワトリニ羽にワニ

早口言葉みたいで素敵

庭にはニワトリニ羽にワニ

元気が出てくる魔法の言葉

庭にはニワトリニ羽にワニ

庭にはニワトリニ羽にワニ

庭にはニワトリニ羽にワニ

庭にはニワトリニ羽にワニ

おしまい。